

令和 7 年度一般財団法人太田市行政管理公社事業報告

太田市行政管理公社は平成 13 年 4 月、当時の太田市の外郭団体（国際交流協会、文化振興事業団、スポーツ振興事業団、勤労者福祉サービスセンター、シルバー人材センター、農業振興公社、広域健診センター、社会福祉協議会、土地開発公社）職員の一元管理を行うために任意団体として発足し、合併後の太田市においても同様の組織として運営を続けました。そして、組織の強化を図るために平成 21 年 4 月 1 日からは一般財団法人太田市行政管理公社となり、市民福祉の向上や快適な居住環境の整備等に寄与することを目的に、公共施設の管理及び運営を受託するなどの諸事業を実施していますが、令和 6 年度における事業概要（実績）は以下のとおりです。

（１）公社及び外郭団体の人材管理に関する業務（事業管理課）

事業管理課では主要事業の一つとして、公社及び外郭団体の職員に関する人事の一元管理を行っています。令和 6 年度の職員数は 280 人で、そのうち公社本体（事業管理課・行管総務課・花と緑の課）に 35 人を配置し、在籍出向先 8 団体（社会福祉協議会、国際交流協会、土地開発公社、シルバー人材センター、勤労者福祉サービスセンター、健診センター、文化スポーツ振興財団、ものづくり研究機構）に 223 人の職員を配置しました。

このほか、太田市からの受託事業として児童館及び放課後児童クラブの管理運営を 22 人の職員で行っています。

外郭団体や市の委託担当部署と密に連携し、事業方針や計画に柔軟に対応しながら、職員の能力開発と公社の組織強化につながる人材マネジメントを推進しました。

（２）公社及び外郭団体の人材育成に関する事業（行管総務課）

太田市人事課と連携して階層別研修や特別研修を実施し、職員の知識・意識・常識のアップデートをサポートしました。また、公社独自の研修を企画運営し、公社の課題解決に向けた意識付けを行いました。

（３）公社及び外郭団体の福利厚生に関する事業（行管総務課）

健康診断や生活習慣病予防健診費用助成等を実施し、職員が心身共に健康に働ける環境づくりに努めました。また、ハラスメント対策やメンタルヘルス等の相談を実施し、組織としてハラスメントのない職場づくりに努めました。

(4) 公園管理業務（花と緑の課）

市内の公園・緑地427箇所、街路樹145路線について、安全で快適な公園等の維持管理に努めました。

こうした中、市民要望1,346件、自主パトロール804件を緊急性、安全性を考慮し、対応処理いたしました。

なお、要望内容と自主パトロールの対応内容と件数は次のとおりです。

・公園等のゴミ、剪定枝等の回収依頼	1, 173件
・公園、街路樹等への薬剤散布、毛虫の駆除要望	30件
・樹木の剪定、枯木、倒木の撤去、傾木補強要望	376件
・公園、緑地等の除草剤散布及びグラウンド部分の草刈、芝刈要望	259件
・公園内水道、トイレの給・排水トラブル修理、部品交換	34件
・公園灯、トイレ内照明、時計等の電気関係の修理依頼	47件
・公園遊具、ベンチ、フェンス等備品等交換、修理及び塗装	48件
・公園内遊具、ベンチ等の撤去依頼	14件
・案内看板、注意看板の設置要望	17件
・公園内砂場の砂入替え及びグラウンド整地（土の搬入等）要望	29件
・スズメバチ、カラス等の巣撤去依頼	32件
・その他（動物の死骸撤去、トイレドア、鍵修繕ほか）	91件
※2, 150件の内131件が業者委	合計 2, 150件

これらの公園・緑地等は、良好な風致や景観をそなえた快適環境をつくり、自然とのふれあいを通じて心身ともに豊かな人間形成に寄与する極めて重要な役割を果たします。さらに、スポーツ・レクリエーションの場・避難地・避難路・公害・災害の防止緩和など都市防災空間として、安全で快適な都市生活を営むうえで必要不可欠な施設の維持管理に努めました。

また、八王子山公園墓地及び納骨堂は、来園者に安心と快適に利用しやすい施設の維持管理に努めました。

(5) 児童館及び放課後児童クラブ管理運営業務（行管総務課）

市内8児童館及び2放課後児童クラブの管理運営について、地域児童の健全な発達を支援するための環境づくりや、安全かつ安心な放課後児童の居場所の提供を行いました。

平成26年度まで社会福祉協議会が指定管理者として指定されていたのですが、平成27年度からは、太田市と行政管理公社との業務委託契約に基づき、実施することとなり、令和6年度の事業において、太田市からの児童館事業収入は96,577,935円、放課後児童クラブ事業収入は27,144,205円で、それぞれ人件費及び施設管理費等に支出しました。

(6) 精米事業 (行管総務課)

地産地消の一環として、市内で生産した米を市精米センターで精米し、市内の公立幼稚園1園、小学校24校、中学校15校、義務教育学校1校の計41校に新鮮安全な米飯給食を提供してきました。

令和6年度において、18,466人の児童・生徒・教職員に2,223,734食を提供し、事業収入は164,836,435円で、主に玄米の仕入及び米飯の炊飯・配送業務委託費等に支出しました。

【精米スケジュール】

＜精米日＞	週3日 (火・木・金)
＜搬入出日＞	水曜日
＜玄米搬入＞	3 t/回 × 2回 = 6 t
＜精米搬出＞	炊飯委託業者に搬出 東毛フーズ (3.5 t)、新田製パン (0.3 t)、 尾島製菓 (0.9 t)

【精米必要量】

＜1人当たり1食量＞	平均80 g
＜1日当たり必要量＞	80 g × 18,466人 = 約1.48 t

【年間精米数量】

＜令和6年度＞	玄米入庫	192 t
	精米出来高	172 t
	米飯納品数量	170 t
	年度末精米在庫	3 t